

2019 年度 楽患チャイルド評価

2019 年度の取り組み

- 当園理学療法士から送迎時のシーティングやその他理学的指導を職員および保護者へ展開しています
- 当園言語聴覚士から摂食嚥下に関する指導を保育士、看護師に行い、全体として摂食嚥下を意識して取り組んでいます。

保護者等による評価 ※結果データは最終ページ参照

- 活動スペース、内容については肯定評価多数
- 他園との交流の機会などの活動内容の園からの情報発信が足りない
- 子どもの状況について、保護者との連携が取れているとの評価多数
- 保護者同士の連携は、いいとの評価
- 個人情報に十分注意しているとの評価全数
- 子どもは通所を楽しみにしているとの評価全数
- 事業所の支援に満足しているとの評価全数

保護者の声

「PT や ST など専門の方がいらっしゃるのが大変ありがたい」

「毎日楽患さんの方がお迎えに来てくださるとうれしそうにしています」

「入園当初に比べると活動的になりおしゃべりもとても上手になってきたので・・・少しずつ前進していると感じます」

「スタッフの方がみなさんとても感じがよく、子どもに対して献身的に接してくださっているのがよくわかります・・・」

「体調を崩さず通える工夫から教えてもらった」

「様々なかかわりを通して本人が一人の子としてマイペースではあるものの立派に成長する姿を目にして、

偏った考えで育てるのではなく、社会の中で育てることの重要性を知れました」

「子どもも通園を楽しみにしていて、たくさん遊んでくれるので・・・いつもより寝る時間が早いです」

職員アンケート結果

- 個人情報の保護、利用者の人格尊重、個別ケアについて留意しているとの回答多数
- 利用者へのサービスに関する悩みをもつ職員は半数
- 安全管理、体調管理は全員意識しているとの回答
- 最近体調不良ありとの回答あり

事業所全体の振り返り

通常の運営は主にリハの充実が評価できます。次に課題としてですが、引き続き緊急時の対応です。重症児を預かる以上、急変などによる緊急事態は避けては通れません。救急車を呼ぶ事態では、事前の訓練、そして事後の振り返りが大切ですが、まだ改善の余地があります。大災害時の対応もしかりです。2020年度の優先事項になります。

2020/3/28

特定非営利活動法人楽患ねっと

理事長 岩本貴

保護者等による評価

	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・体制 整備	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか	2	1		
	職員の配置数や専門性は適切ですか	3			PTやSTなど専門の方がいらっしゃるのは大変ありがたいがちです
適切な 提供	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、サービス計画が作成されていますか	3			
	活動プログラムが固定化しないよう工夫されていますか	3			
保護者への 説明等	他の保育園との交流など、障害のない子どもと活動する機会がありますか	1	2		
	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか	3			
	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	3			
	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていますか			3	
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していますか	3			
	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信していますか	1	2		
	個人情報に十分注意していますか	3			
非常時 等の 対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されていますか			1	
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか		1		
満足 度	子どもは通所を楽しみにしていますか	2			毎日、楽患さんの方がお迎えに来てくださるとうれしそうにしています
	事業所の支援に満足していますか	2			